



KOBE JI ZOO

### 王子動物園からのお知らせ

王子動物園は春になると約480本のソメイヨシノが咲く桜の名所です。春の王子動物園に動物たちと桜を見に来てください。

#### 夜桜通り抜け

日程：4月2日・3日・4日の3日間  
時間：18時～21時(最終入園20時30分)

料金：夜桜の時間帯は無料(100円の桜募金にご協力をお願いします)

※車での来園はできません。(駐車場は閉鎖します)ご注意ください。  
夜桜の時間帯は動物を見ることができません。王子動物園は飲酒禁止、夜桜の時間は飲食禁止です。  
鳥インフルエンザの発生などにより急遽中止となる場合があります。事前にホームページでご確認ください。



### 大学設置・運営事業者の公募

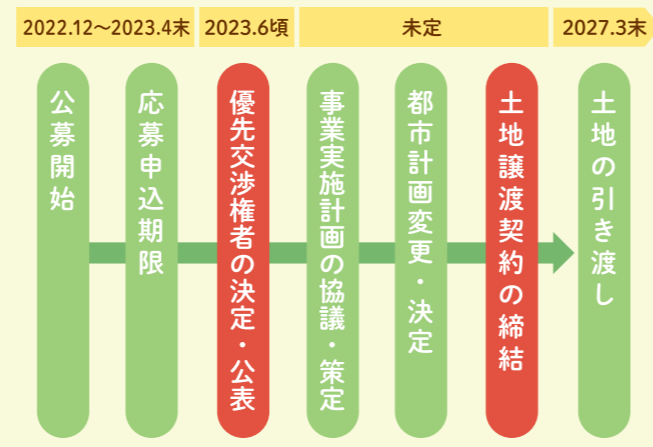
#### 求める大学像

王子公園周辺エリアの歴史と文化を尊重し、国内外の人材が集う新たな中核施設として、地域と共に成長し、持続可能な神戸の発展に資する地域として世界に開かれた大学を求めています。

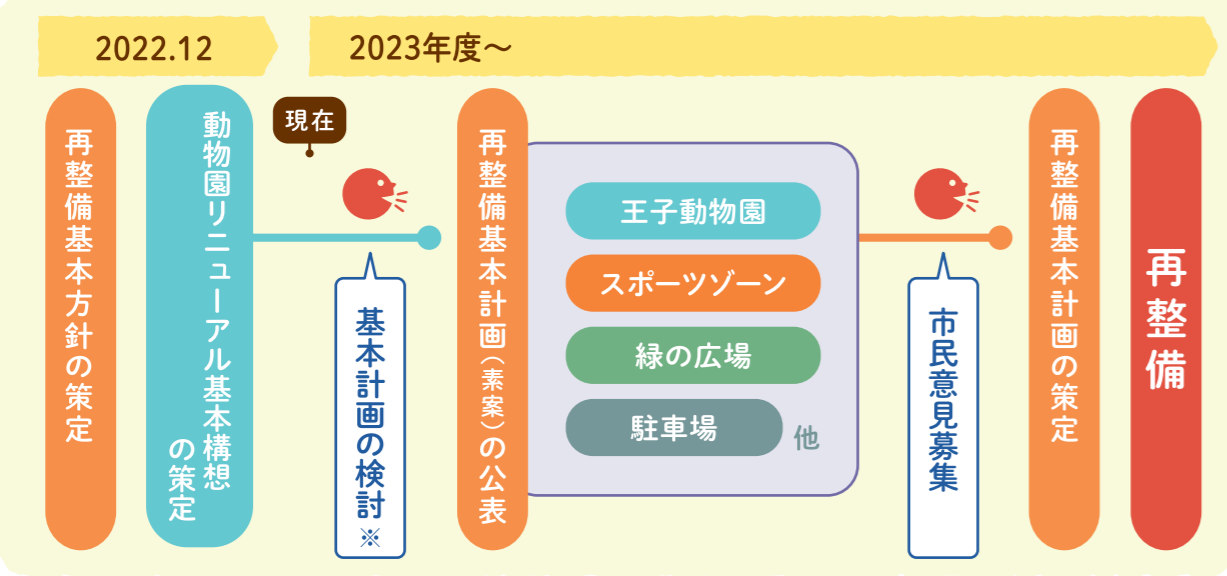
#### 大学に求める役割

神戸の将来を牽引する優秀な人材の確保・育成・輩出、地元企業の成長・活性化や教育・研究成果の社会への還元という機能に加えて、学生による社会貢献、リカレント教育など学び直しの機会の提供、大学施設の開放、防災機能の確保・提供についても求めています。

#### 大学スケジュール(予定)



### 王子公園再整備にかかるスケジュール(予定)



さらに詳しく  
王子公園再整備に関するFAQなどの情報をHPに掲載しています

🗨️ = みなさまからご意見をいただく機会です。  
※今後、再整備基本計画の検討にあたっては、市民のみなさまにご意見を伺いながら進めていきます。詳細につきましては、あらかじめ市HPなどを通じてお知らせします。

お問い合わせ先 総合コールセンター(年中無休 8時00分～21時00分)  
TEL:0570-08-3330 または 078-333-3330  
FAX:078-333-3314

発行元 神戸市

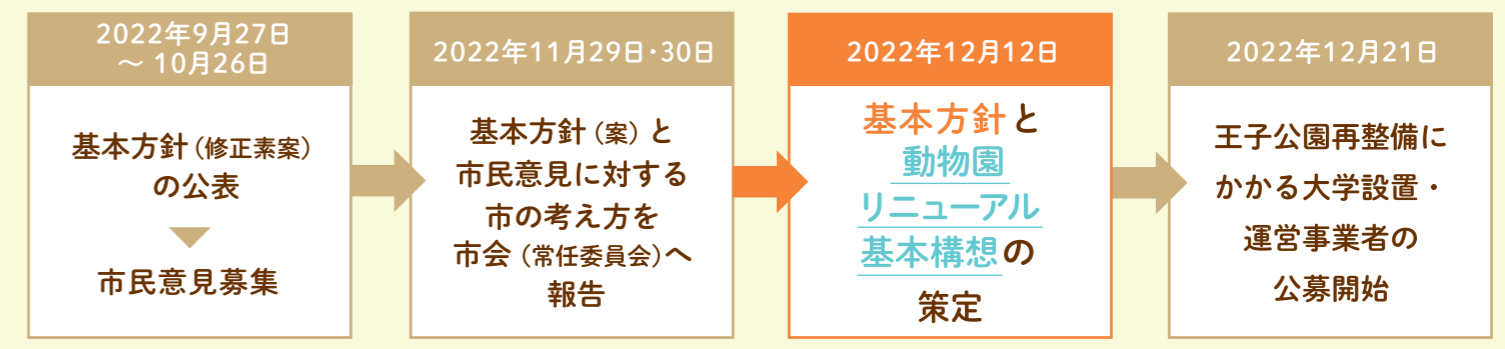
# 王子公園 mini news

広報紙KOBEより抜き出してお読みください。



王子公園再整備基本方針と王子動物園リニューアル基本構想を策定しました。今後、これらを基に、再整備基本計画の検討を進めます。

### 再整備に向けたこれまでの経緯



### 王子動物園のリニューアルを進めていきます

#### 王子動物園の概要

王子動物園は、かつて「原田の森」と呼ばれた一帯で、戦後復興期に開催された神戸博覧会の跡地に、1951年3月に開園して以来、70年を超える歴史ある動物園です。  
現在は、約130種750点の野生動物を飼育展示しており、国内初となるチンパンジーの人工哺育、キンコウの自然繁殖など、各種希少動物の繁殖や大学や研究機関等と連携した学術的研究に取り組んできました。

#### 王子動物園が直面する課題

施設更新の必要性 獣舎の老朽化や利用ニーズの多様化に対応した施設の更新が必要

種の保存への貢献 動物収集計画(コレクションプラン)や繁殖に必要な施設の整備、調査研究、教育の充実が必要

動物福祉の意識の高まり 動物福祉向上のため、ハード・ソフト両面での環境整備が必要

展示方法の多様化への対応 多様な展示方法の導入の検討が必要

これらの課題を解決するために、リニューアルに取り組みます。 [次ページへ](#)

# 王子動物園リニューアル基本構想

## これからの王子動物園に求められる役割

- 1 公立動物園としての役割**
  - 種の保存
  - 調査研究
  - 教育
- 2 立地特性を生かした都市型動物園としての役割**
  - 身近に楽しめる施設整備
  - 周囲と調和した景観
  - 六甲の自然を活かした環境教育
  - レクリエーション機能の充実
- 3 社会潮流への対応**
  - 動物福祉の向上
  - ユニバーサルデザイン
  - SDGs
  - 新技術(ICT・DXなど)

## 王子動物園のコンセプト・理念

“六甲の豊かな緑を感じ、動物と人がいきいきと過ごしなが  
世界につながる動物園”

市街地にありながら六甲山系に近い立地特性や景観を最大限に生かし、自然に囲まれた中でいきいきと過ごす動物たちの姿を来園者が1日中、ゆっくりと観察し、遊び、憩い、その中で自ずとSDGsに配慮した暮らしに目を向けることのできる動物園を目指します。

## 王子動物園が目指すべき5つの方向性

### まもる

#### 種の保存など、生物多様性保全に貢献する動物園

- 動物のいのちをつなぐ(域内・域外保全の推進)
  - ▷ 国内外の希少動物の保全など、持続可能な飼育展示等に取り組むための動物収集計画(コレクションプラン)の策定



▲ 希少動物の繁殖

#### ● 動物がいきいきと暮らす(動物福祉の向上)

- ▷ 生息環境の再現等により動物本来の行動を引き出し、生物多様性の重要性が伝わる展示方法の導入
- ▷ 動物たちが快適・安全・健康に暮らすための飼舎設備の充実

動物本来の行動を引き出す展示方法



### まなぶ

#### 動物を通して自然や環境への扉をひらく教育の推進



▲ 骨格標本等の活用

- 動物科学資料館を教育の拠点とし、剥製や骨格標本、VRやARなどのデジタル技術の活用による動物の生態や生物多様性の理解を深化
- 自然環境との関わりを学習する機会を推進するため、地域の自然保護団体等と連携したイベント等の実施



ホッキョクグマ舎の雪生成装置でできた雪山

### ふかめる

#### 希少動物の保全や動物福祉の向上に資する調査・研究の推進



▲ 学術研究の発表

- 次の時代につなげる(研究分野の拡大)
  - ▷ 調査研究を推進するための環境整備、大学等研究機関との連携により、得られた知見の研究発表を推進できる体制の整備

#### ● 次の時代を育てる(人材育成への貢献)

- ▷ 動物園の職員の専門性の向上を図るための人材育成システムの構築

### たのしむ

#### 誰もが安全に安心して楽しめる憩いの場の創出



▲ 自然を身近に感じる遊び場のイメージ

- 六甲山系の山並みや「原田の森」であった歴史特性を生かした緑豊かな景観づくりにより、自然を満喫できる景観の創出
- 子供たちが動物や自然をより身近に感じることができる遊び場の整備
- 園内外から利用できる飲食・物販等のサービス機能の配置

### はぐくむ

#### 市民・地域・来園者と共に歩み行動する動物園

- SNSや各種メディア等による情報発信、地域団体や企業とのコラボレーションによるイベントやグッズの開発等による広報・PRの強化など、民間との一層の連携協力を推進
- 市民や関連団体・企業等による動物サポーター制度の利用拡大など、ファンと共に動物園を守り育てる仕組みを強化
- 地域の学校、商店街等との協働により、にぎわいを高め、まち全体の活性化に貢献する取り組みの推進



▲ SNSの活用

#### さらに詳しく

このページで紹介した基本構想の全文はホームページに掲載しています。今後この内容をふまえ、具体的なリニューアル内容(基本計画)の検討を進めていきます。

こちらよりご確認ください

